

## ながくて市民まつり 2014 の報告

日時：平成26年11月9日（日） 午前9時30分から午後3時まで

場所：市役所南駐車場

内容：市の男女共同参画の取組をPRするために、ブース出展を行った。

①男女共同参画標語・川柳の優秀作品の掲示

②第2回ワークショップの模造紙の掲示

③ボードインタビュー

参加者：6人



### ～ ボードインタビュー結果 ～

あなたは、女性がどんどん社会に出て活躍し、  
女性管理職が増えることについて賛成？反対？

回答者：男性 54 人、女性 83 人 計 137 人

	賛成	どちらとも言えない	反対
女性	68人	12人	3人
男性	48人	4人	2人

#### 「賛成」の理由 ※（ ）は回答者の性別

- 男女半々の方がいい、男性の考えが反映されがちなかも（女）
- 女性の意見を聞くべき（女）
- 女性総理に期待（女）
- 海外でも当たり前日本もようやくという感じ（女）
- 女性の活躍の場が少ないから（女）
- 反対する理由なし（女）
- 細かな気づきができる、女性の地位向上を望む（女）
- 男女共同参画の時代だから（女）
- 女性ならではの柔軟な視点（女）
- 女性の管理職登用で世の女性が納得できる（女）
- 男性管理職だけでは分からないことも多い（女）
- 学校も男女混合名簿に（女）
- 女性ができる事は多い（女）
- おじいちゃんが孫に「男なんだから」ってすぐ言うのがおかしいと思う（女）
- 男女の違いを活かしながら、女性が社会で活躍してほしい（女）
- 男女平等であるべき（女）



- これからは女性の時代（女）
- 女性は冷静に物事を見られる（女）（女）
- 女性が相談しやすい、女性の方が気づかいができる（女）
- 「女性だから～」と差別するのはおかしい（女）
- 若い世代のモチベーションがあがる（女）
- 男女どちらにも平等に機会が与えられる権利がある（女）
- 男と女50%ずついるのだから（女）
- 女性のパワーをもっと活用すべき（男）
- 男性だけの視点だけでは偏った施策しかできない（男）
- 賛成だけど、トレーニング、教育は必要（男）
- 男性にはない視点があるのに、「男が男が…」と言われるのは大変（男）
- 男一辺倒ではない、いろんな意見がでる（男）
- 力があれば（男）
- 柔軟な考えができると思う（男）
- 女性への教育も必要（男）
- やる気があればOK！（男）
- 女性ならではのきめ細やかな視点がある（男）
- 女性の力を活かしてくれたら◎（男）



#### 「どちらとも言えない」の理由

- 環境がまだ成り立ってない（女）
- 子育てとの両立が難しい（女）
- まずは、女性自身が子育て、少し働く、フルに働くなど、選べる環境にすることが大切（女）
- 自分が管理職になるのは気が進まない（女）
- 無理にはやることはない（男）
- 管理職になるよう無理にすすめる必要はない（男）

#### 「反対」の理由

- 男性の方が向いている（女）
- 男性の方が冷静（女）
- 受入れる環境がない（女）
- 女性の校長先生だと違和感（男）
- 女性は甘えている（男）
- もっと女性は能力をつけるべき（男）
- 男性管理職の方が違和感がなさそう（男）



「女性の活躍」を切り口として、来場者にインタビューをしたことで、たくさんの市民の意見を聞くことができ、「女性の社会参画」に対する市民の関心の高さを実感しました。

市民にとって身近な男女共同参画のテーマを取り上げることにより、一人ひとりが男女共同参画について考えるきっかけづくりができそうです。